

新型コロナウイルスワクチン接種について

1 接種状況（令和5年1月15日現在）

	接種回数※1	接種率 (対人口※2)	備考
1回目	100,677回	80.70%	・乳幼児（0～4歳） 1回目：5.98% 2回目：3.67% ・小児（5～11歳） 1回目：27.84% 2回目：26.58% 3回目：13.24%
2回目	100,688回	80.71%	
3回目	85,624回	68.63%	
4回目	52,266回	41.89%	
5回目	23,063回	18.49%	
<b>オミクロン株 対応</b>	<b>48,640回</b>	<b>38.99%</b>	

※1 小金井市に住民登録のある方の全国での接種回数を集計

※2 人口（124,756人）は令和5年1月1日時点

※3 乳幼児・小児の接種率は対象年齢人口比（0～4歳：5,102人、5～11歳：7,651人）

2 60歳以上のオミクロン株対応ワクチン接種状況（令和5年1月15日現在）

	60歳代	70歳代	80歳代以上	合計
接種人数	8,168人	8,558人	6,628人	23,354人
人口	13,199人	11,665人	9,107人	33,971人
接種率	61.88%	73.36%	72.78%	68.75%

※ 人口は令和5年1月1日時点

【参考】東京都公表1月10日時点の小金井市65歳以上接種率：71.2%（都内26市中9位）

3 オミクロン株対応ワクチン集団接種実績（12月末まで）

実施月	接種人数（※）	ワクチン種類	会場
令和4年9月	171人	ファイザーBA.1	保健センター (接種人数：634人)
令和4年10月	463人	ファイザーBA.1	
	3,562人	ファイザーBA.1	第一大久保ビル（旧西友） (接種人数：21,811人)
令和4年11月	593人	モデルナ BA.1	
	11,950人	ファイザーBA.4-5	
令和4年12月	5,308人	ファイザーBA.4-5	
	398人	モデルナ BA.4-5	
合計	22,445人		

※ 住所地外接種者（小金井市民以外）含む

【参考】

○ 個別接種実績（令和4年10月31日から12月31日まで） 23,200人

○ 市内接種実績（個別接種＋集団接種） 45,645人

#### 4 オミクロン株対応ワクチン予約なし接種の実績（第一大久保ビル（旧西友）会場）

実施日	使用ワクチン	予約なし接種人数	接種人数総数	予約なし接種率	予約枠数
12月14日（水）	ファイザーBA.4-5	38人	275人	13.82%	630
12月15日（木）	ファイザーBA.4-5	42人	242人	17.36%	540
12月17日（土）	モデルナBA.4-5	38人	250人	15.20%	930
12月18日（日）	ファイザーBA.4-5	40人	410人	9.76%	540
12月21日（水）	ファイザーBA.4-5	37人	253人	14.62%	630
12月22日（木）	ファイザーBA.4-5	23人	205人	11.22%	540
12月24日（土）	モデルナBA.4-5	22人	148人	14.86%	930
12月25日（日）	ファイザーBA.4-5	32人	348人	9.20%	540
12月28日（水）	ファイザーBA.4-5	53人	309人	17.15%	630
12月29日（木）	ファイザーBA.4-5	48人	320人	15.00%	540
合計		373人	2,760人	13.51%	6,450

#### 5 接種勧奨

- (1) 予約なし接種の実施（保健センターで実施のオミクロン株対応ワクチン接種）
- (2) 勧奨通知の送付（対象は60歳以上で3回目未接種の方）
- (3) 集団接種来場者専用のマイナンバーカード臨時申請窓口の設置

#### 6 接種体制（令和5年1月16日現在）

対象等	ワクチン種類	接種体制			
		令和5年2月5日まで		令和5年2月6日以降	
		個別接種	集団接種	個別接種	集団接種
令和4年秋開始接種 （3～5回目） （12歳以上）	ファイザーBA.4-5	○ （35医療機関）	○	○ （17医療機関）	○
	モデルナBA.4-5	—	○	—	○
	ノババックス （18歳以上）	—	○	—	○
初回接種（1・2回目） （12歳以上）	従来ファイザー ノババックス	—	○	—	○
小児接種（1～3回目） （5歳以上11歳以下）	小児ファイザー	—	○	—	○
乳幼児接種（1～3回目） （6か月以上4歳以下）	乳幼児ファイザー	○ （5医療機関）	—	○ （5医療機関）	—

#### 7 令和5年度以降について

- ・ 現時点では国・都などから明確な方針は示されていない
- ・ 令和5年1月30日（月）に厚生労働省による自治体説明会が開催予定

令和5年1月17日  
福祉保健部健康課

抗原検査キット配付実績

日付	件数	配付個数
12/27 (火)	20	48
12/28 (水)	25	54
1/4 (水)	25	66
1/5 (木)	25	59
1/6 (金)	13	26
1/10 (火)	21	46
1/11 (水)	20	50
1/12 (木)	8	22
1/13 (金)	12	27

※12/28 から1日当たりの配布上限数：25件

# 感染状況・医療提供体制の分析（令和5年1月11日時点）

【令和5年1月12日 モニタリング会議】

区分	モニタリング項目 ※①～④は7日間移動平均で算出	前回の数値 (1月4日公表時点)	現在の数値 (1月11日公表時点)	前回との比較	これまでの最大値	項目ごとの分析																
感染状況	①新規陽性者数※1 (うち65歳以上)	11,569.4人 (992.3人)	15,519.7人 (1,810.0人)	↗	32,099.9人 (2022/8/3)	総括コメント <b>感染が拡大している</b>																
	②#7119 (東京消防庁救急相談センター) ※2 における発熱等相談件数	176.1件	148.0件	↗	257.9件 (2022/7/25)	新規陽性者数は、年末年始中に一時減少したものの、大きく増加して、再び年末前の水準に近づいてきている。職場や学校等の再開に伴う新規陽性者数の動向を、引き続き注視する必要がある。																
	③検査の陽性率 (PCR・抗原) (検査人数)	42.1% (8,849人)	37.8% (25,790人)	↗	52.2% (2022/8/7)	個別のコメントは別紙参照																
	④救急医療の東京ルール※3の適用件数	264.3件	289.0件	↗	309.7件 (2022/7/24)	総括コメント <b>医療体制がひっ迫している</b>																
	⑤入院患者数 (病床数)	4,271人 (6,112床)	4,278人 (6,043床)	↗	4,459人 (2022/8/20)	入院患者数は非常に高い水準で推移し、一般の救急受診や救急搬送も多く、厳しい状況が続いている。重症患者数は、第7波のピークを上回って推移しており、医療提供体制を圧迫してきている。																
	⑥重症患者数 人工呼吸器管理 (ECMO含む) が必要な患者 (病床数)	49人 (266床)	49人 (267床)	↗	297人 (2021/8/28)	個別のコメントは別紙参照																
<p>※1 医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった新規陽性者数の合計を計上（都内の空港・海港検疫にて陽性が確認され、都に報告された分を除く）</p> <p>※2 「#7119」…急病やけがの際に、緊急受診の必要性や診察可能な医療機関をアドバイスする電話相談窓口</p> <p>※3 「救急医療の東京ルール」…救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案</p>																						
<p>【参考】VRSデータによる都民年代別ワクチン接種状況（令和5年1月10日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢層</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> <th>たか/株対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12歳以上</td> <td>80.9%</td> <td>66.6%</td> <td>36.8%</td> </tr> <tr> <td>12歳以下</td> <td>87.6%</td> <td>72.8%</td> <td>40.5%</td> </tr> <tr> <td>高齢者(65歳以上)</td> <td>82.3%</td> <td>93.2%</td> <td>67.2%</td> </tr> </tbody> </table>							年齢層	2回目	3回目	たか/株対応	12歳以上	80.9%	66.6%	36.8%	12歳以下	87.6%	72.8%	40.5%	高齢者(65歳以上)	82.3%	93.2%	67.2%
年齢層	2回目	3回目	たか/株対応																			
12歳以上	80.9%	66.6%	36.8%																			
12歳以下	87.6%	72.8%	40.5%																			
高齢者(65歳以上)	82.3%	93.2%	67.2%																			





# 総括コメントについて

## 1 感染状況

### <判定の要素>

- モニタリング項目に加え、地域別の状況やワクチン接種の状況等、モニタリング項目以外の指標の状況も含め、感染状況を総合的に分析

### <総括コメント（4段階）>





-  大規模な感染（拡大）が継続している／感染の再拡大の危険性が高いと思われる
-  感染が拡大している／感染状況は拡大傾向にないが、警戒が必要である
-  感染拡大の兆候がある（と思われる）／感染状況の推移に注意が必要である
-  感染者数が一定程度に収まっている（と思われる）

## 2 医療提供体制

### <判定の要素>

- モニタリング項目に加え、療養者の年齢構成、重症度、病床の状況やワクチンの接種状況等、モニタリング項目以外の指標の状況も含め、医療提供体制を総合的に分析

### <総括コメント（4段階）>

-  医療体制がひっ迫している／通常の医療が大きく制限されている（と思われる）
-  体制強化が必要な状況である／通常の医療が制限されている状況である
-  体制強化の準備が必要な状況である／通常の医療との両立が可能な状況である
-  平時の体制で対応可能であると思われる／通常の医療との両立が安定的に可能な状況である

（注）通常の医療：新型コロナウイルス感染症以外に対する医療（がん、循環器疾患等の医療）

## 医療提供体制の分析（オミクロン株対応）（令和5年1月11日公表時点）

モニタリング項目	前回の数値 (1月4日公表時点)	現在の数値 (1月11日公表時点)	これまでの最大値※5
(1) 病床利用率 <small>(新型コロナウイルス感染症患者のための病床全体のひっ迫度を把握)</small>	56.5% (4,120人/7,291床)	56.3% (4,105人/7,291床)	71.2% (2021/8/31)
(2) オミクロン株の特性を踏まえた重症者用病床利用率※1	34.2% (131人/383床※2)	36.3% (139人/383床※2)	37.1% (2023/1/10)
(3) 入院患者のうち酸素投与が必要な方の割合	11.1% (473人/4,271人)	12.4% (530人/4,278人)	25.9% (2022/5/9)
(4) 救命救急センター内の重症者用病床利用率※3 <small>(救命救急医療体制のひっ迫度を把握)</small>	75.3% (492人/653床)	81.3% (536人/659床)	81.3% (2023/1/11)
(5) 救急医療の東京ルールの適用件数※4 <small>(救急医療体制のひっ迫度を把握)</small>	264.3件	289.0件	309.7件 (2022/7/24)
(参考指標)			

※1・・・特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床の患者数及び人工呼吸器又はECMOの装着又はハイフローセラピーを実施する患者数の合計/特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床数及び人工呼吸器又はECMOの装着又はハイフローセラピーを実施可能な病床数の合計

※2・・・病床の使用状況や患者の重症度により変動

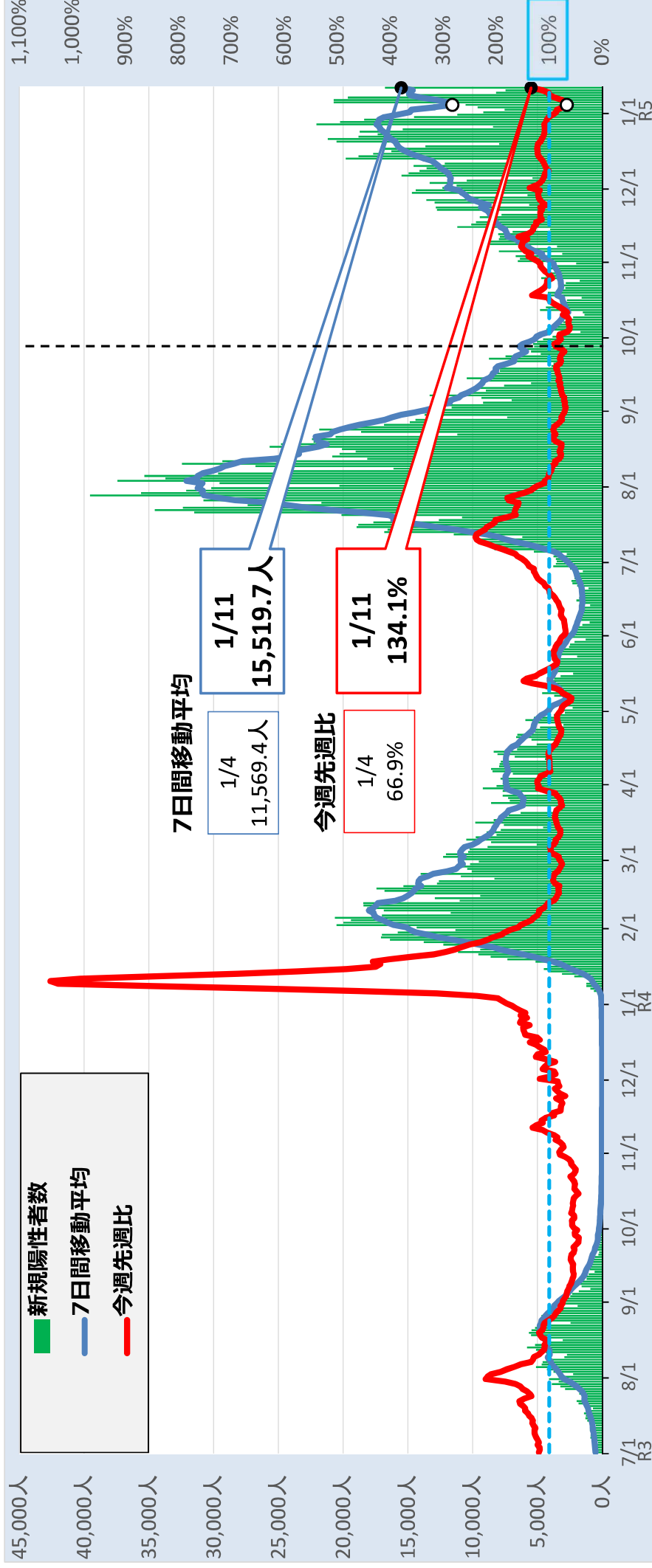
※3・・・救命救急センター内で特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する全ての患者数の合計/救命救急センター内で特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する全ての病床数の合計

※4・・・救急隊による5医療機関への受入要請又は選定開始から20分以上経過しても搬送先が決定しない事案

※5・・・(2) (3) (4)は令和4年2月2日公表時点以降の最大値

## 【感染状況】①-1 新規陽性者数・今週先週比

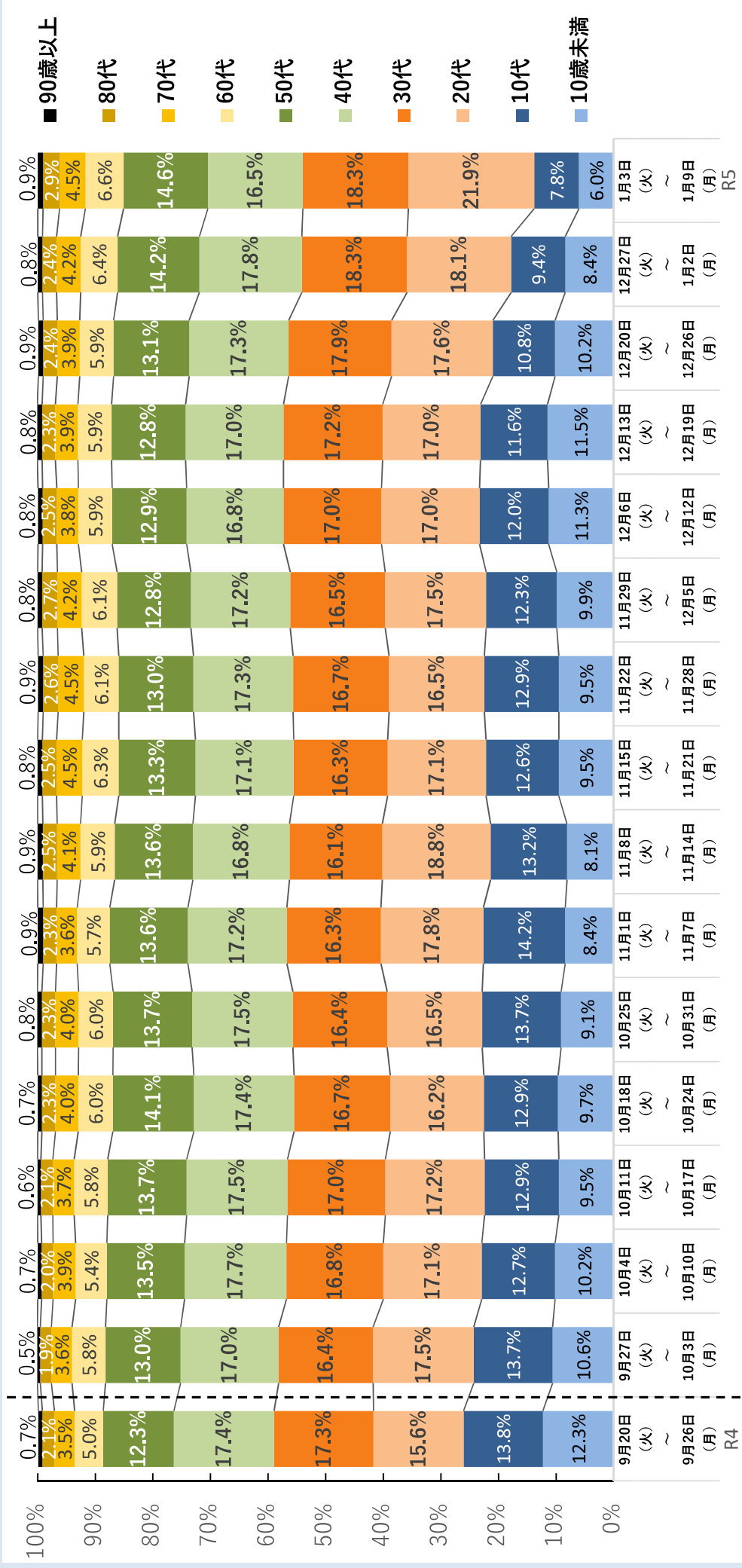
➤ 新規陽性者数の7日間平均は、約15,520人に大きく増加した。今週先週比は、約134%となった。



(注1) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、日々の結果を平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

(注2) 令和4年9月27日以降は全数届出の見直しに伴い、医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった年代別の新規陽性者数の合計を計上

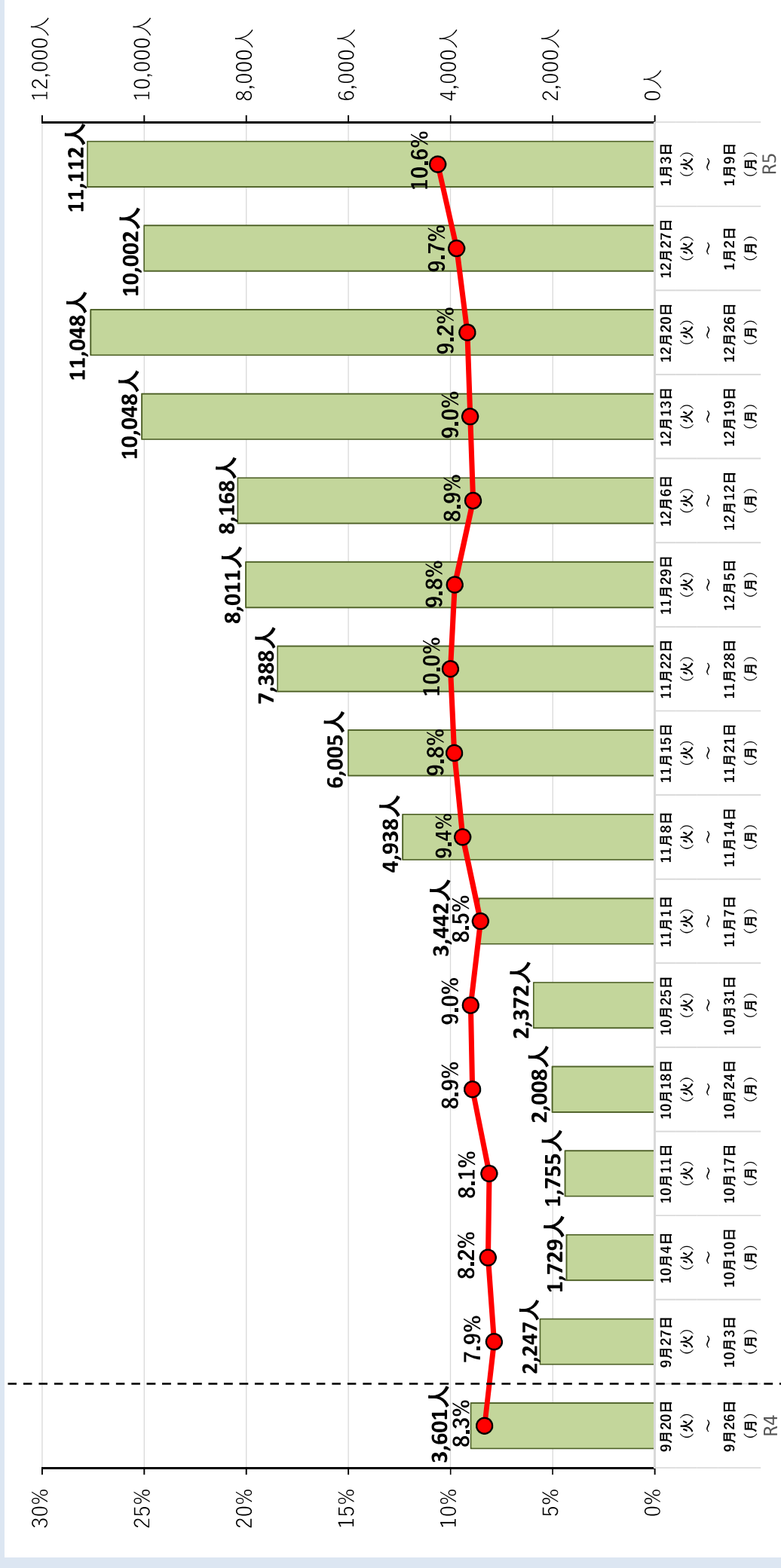
【感染状況】 ①-2 新規陽性者数（年代別）



(注) 令和4年9月27日以降は全数届出の見直しに伴い、医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった年代別の新規陽性者数の合計を計上

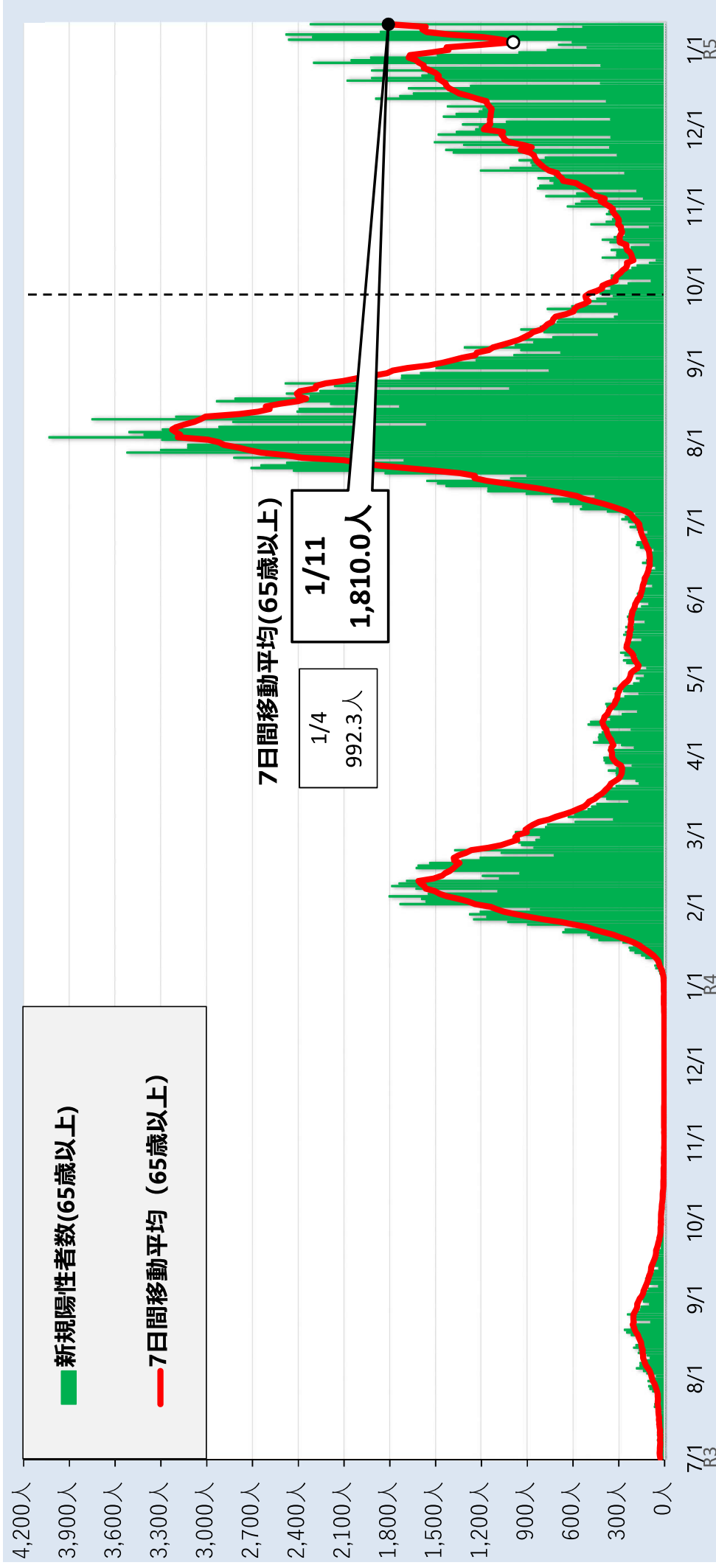


【感染状況】 ①-3 新規陽性者数（65歳以上の割合）



(注) 令和4年9月27日以降は全数届出の見直しに伴い、医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった新規陽性者のうち、65歳以上を計上

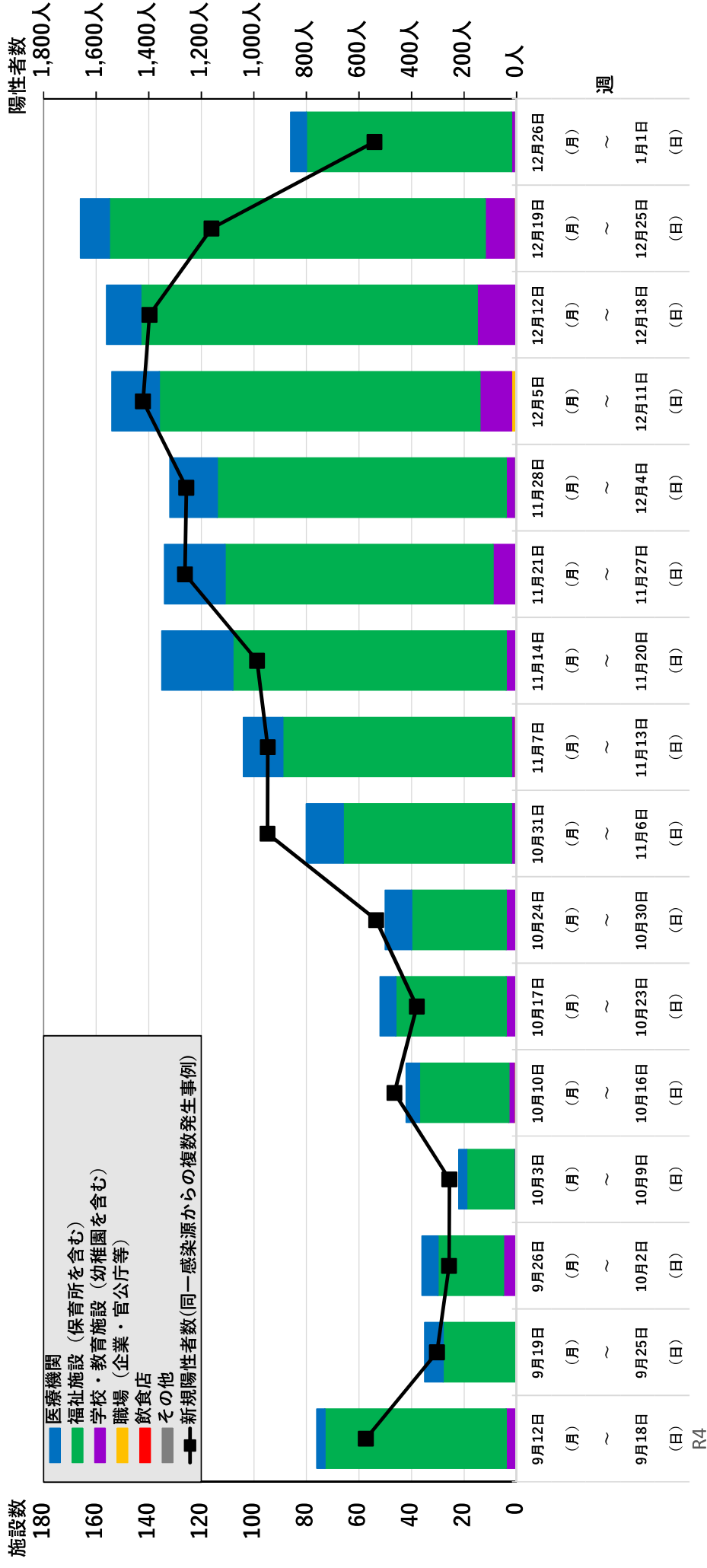
【感染状況】 ①-4 新規陽性者数（65歳以上の7日間移動平均）



(注1) 集団感染発生や曜日による件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を陽性者数として算出

(注2) 令和4年9月27日以降は全数届出の見直しに伴い、医療機関及び東京都陽性者登録センターから報告のあった新規陽性者のうち、65歳以上を計上

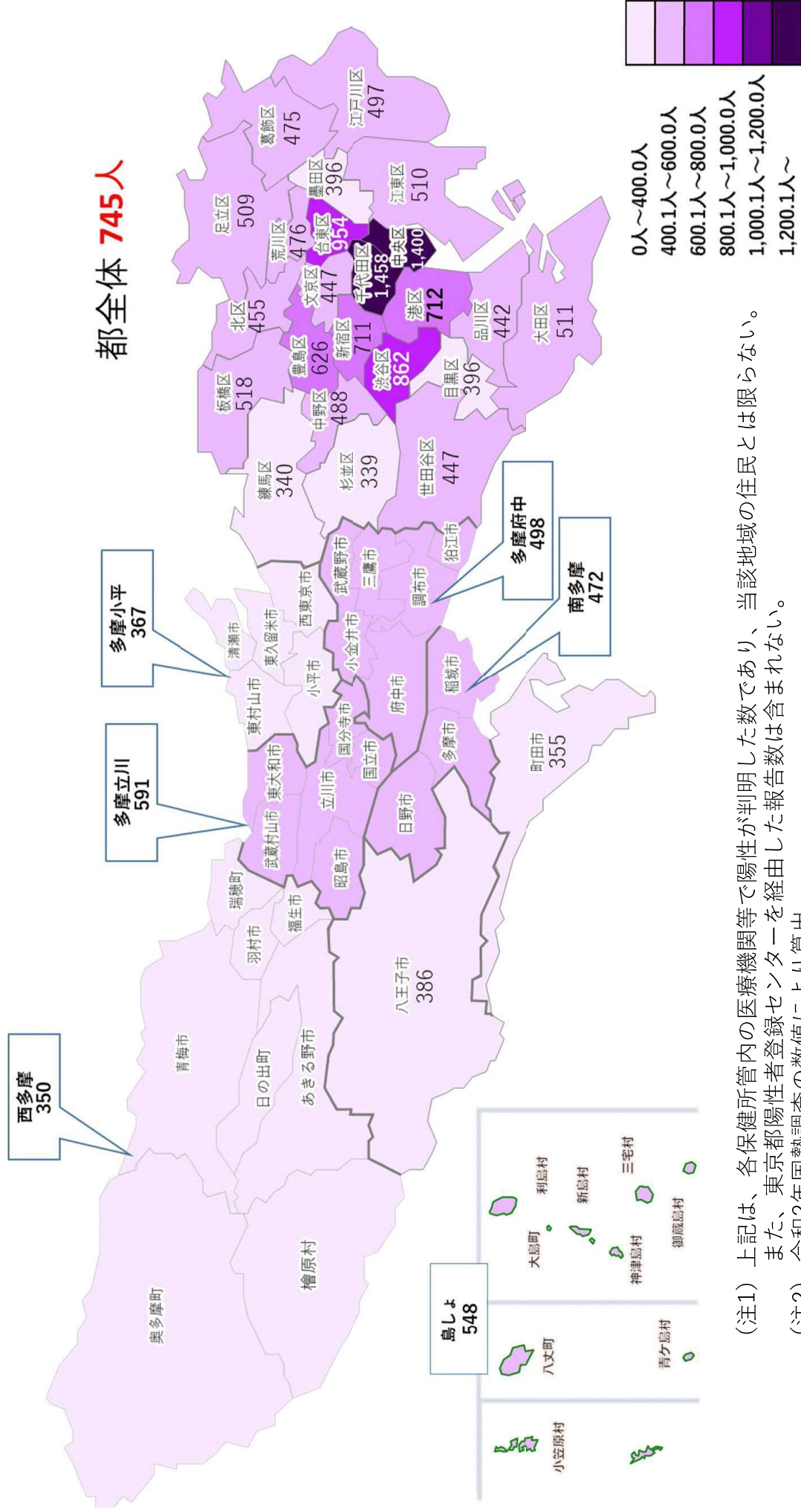
## 【感染状況】①-5 新規陽性者数（同一感染源からの複数発生事例）



(注1) 都内保健所より受けた報告実績（報告日ベース）により算出  
 医療機関、福祉施設、学校・教育施設、飲食店及び職場（企業・官公庁等）において、新型コロナウイルス感染症で、  
 同一感染源から2名以上の陽性者が発生した事例を集計

(注2) 速報値として公表するものであり、後日確定データとして修正される場合がある。

【感染状況】①-6 人口10万人あたり医療機関で陽性が判明した新規陽性者数（保健所区域別、1/3～1/9）

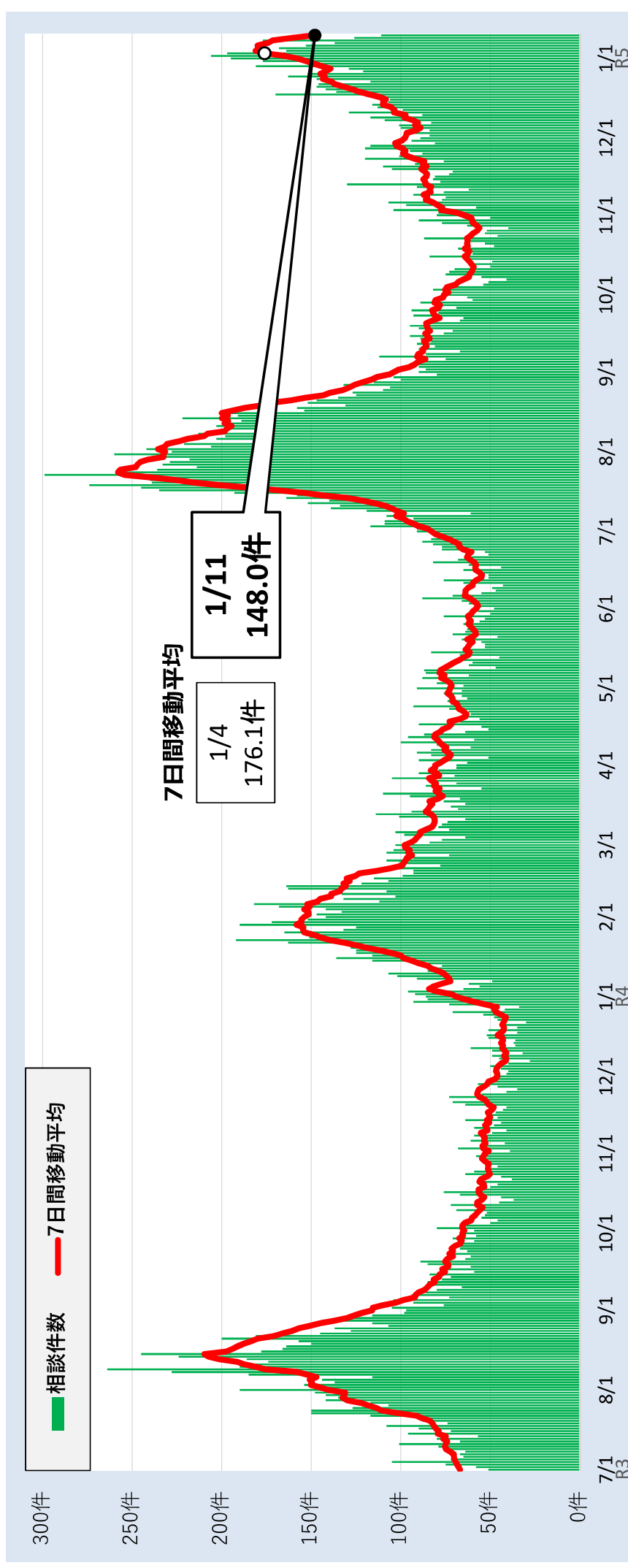


(注1) 上記は、各保健所管内の医療機関等で陽性が判明した数であり、当該地域の住民とは限らない。  
また、東京都陽性者登録センターを経由した報告数は含まれない。

(注2) 令和2年国勢調査の数値により算出

## 【感染状況】 ② #7119における発熱等相談件数

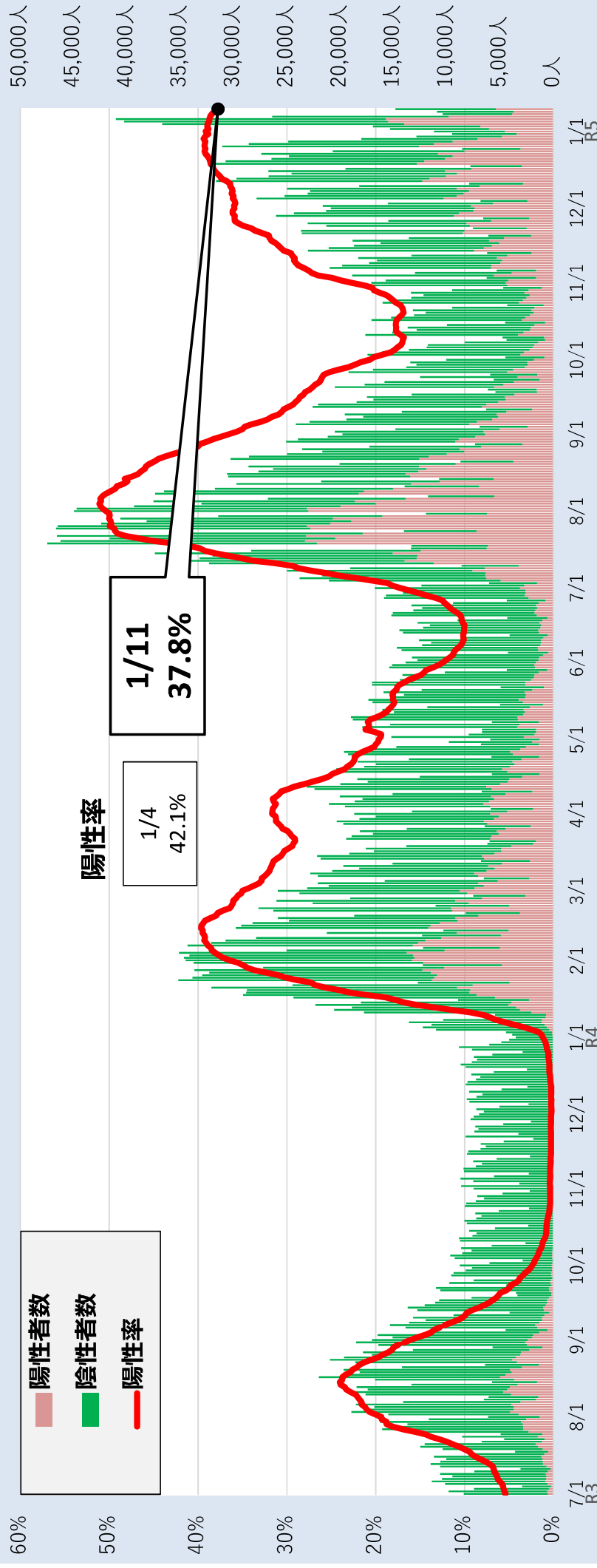
- #7119は、感染拡大の早期予兆の指標の1つとして、モニタリングしている。
- #7119の7日間平均は、1月11日時点で148.0件に減少した。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を相談件数として算出

### 【感染状況】③ 検査の陽性率（PCR・抗原）

➤ PCR検査等の陽性率は37.8%に低下した。

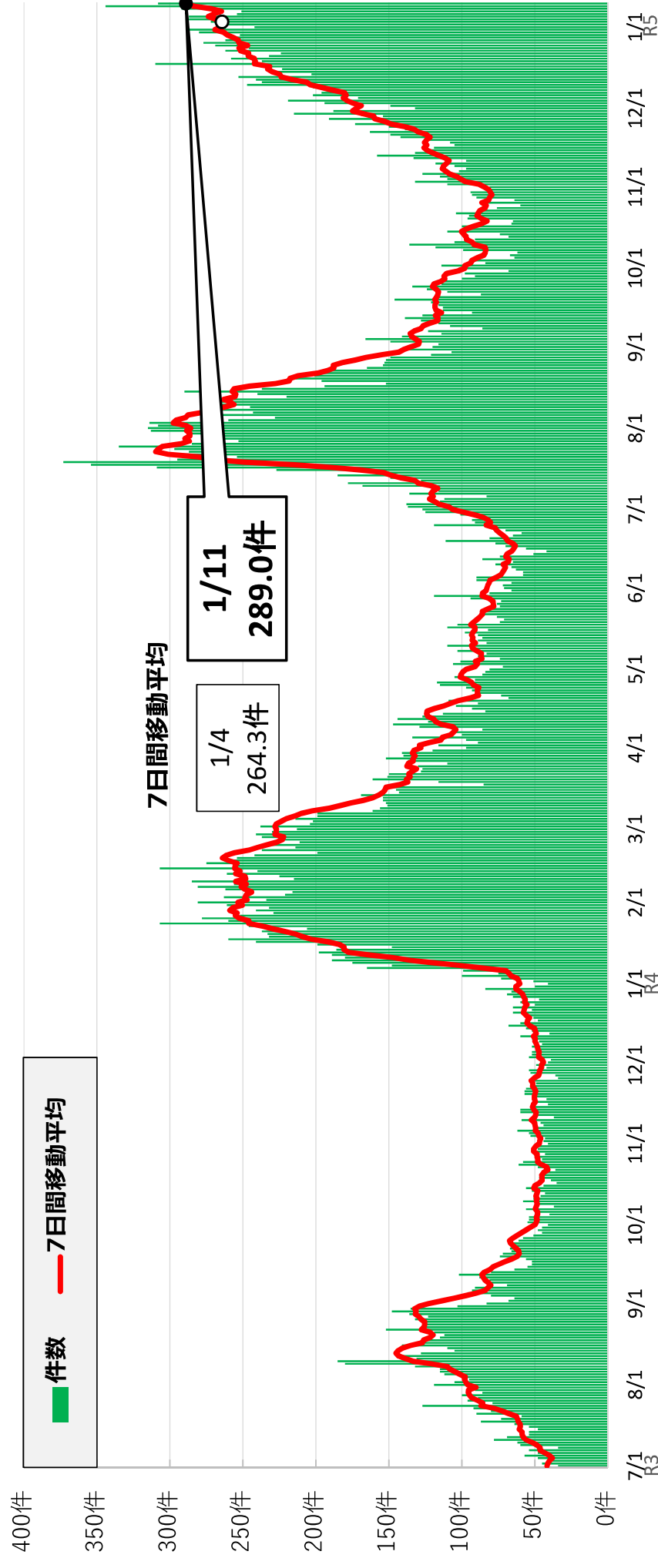


(注1) 陽性率：陽性判明数（PCR・抗原）の移動平均/検査人数（＝陽性判明数（PCR・抗原）＋陰性判明数（PCR・抗原））の移動平均  
 (注2) 集団感染発生や曜日による数値のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平滑化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値をもとに算出し折れ線グラフで示す（例えば、令和3年7月の陽性率は、7月1日から7月7日までの実績平均を用いて算出）

(注3) 検査結果の判明日を基準とする。  
 (注4) (1)東京都健康安全研究センター、(2)PCRセンター（地域外来・検査センター）、(3)医療機関での保険適用検査実績により算出  
 (注5) 陰性確認のために行った検査の実施人数は含まない。  
 (注6) 速報値として公表するものであり、後日確定データとして修正される場合がある。  
 (注7) 吹き出しの数値は、モニタリング会議報告時点の数値を記載

## 【医療提供体制】 ④ 救急医療の東京ルールの適用件数

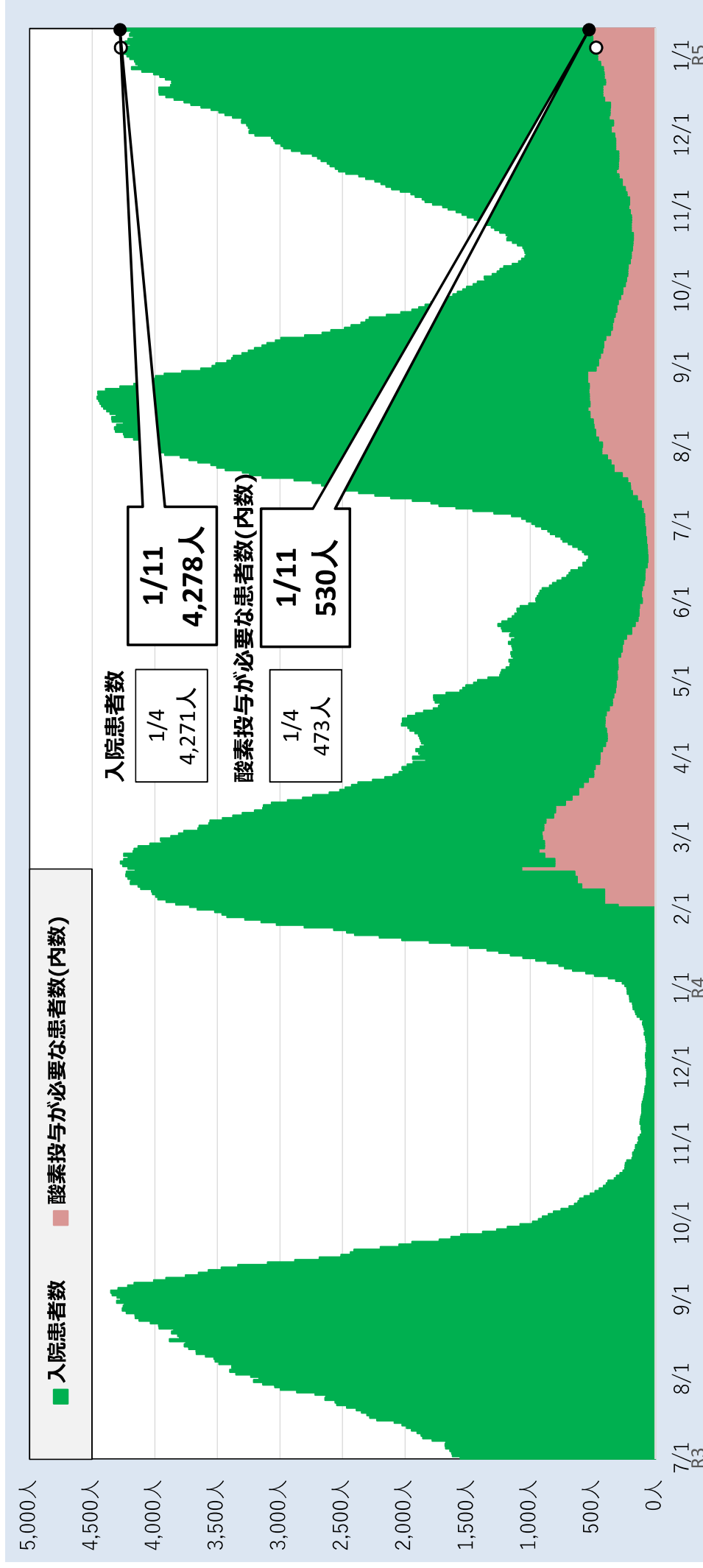
➤ 東京ルール<sup>1</sup>の適用件数の7日間平均は289.0件となった。



(注) 曜日などによる件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値を適用件数として算出

## 【医療提供体制】 ⑤-1 入院患者数（酸素投与が必要な患者数を含む）

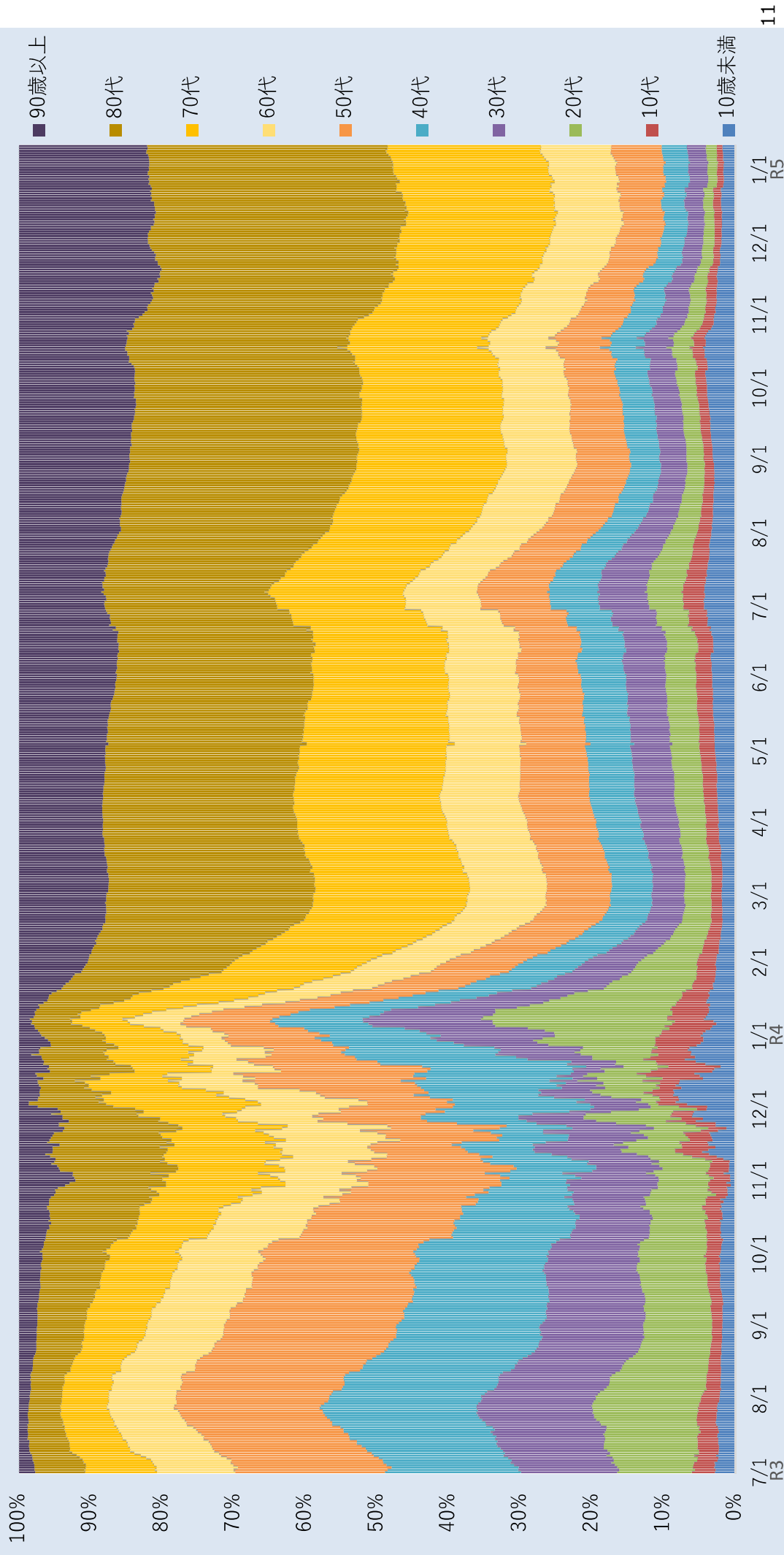
➤ 入院患者数は、1月11日時点で4,278人となった。



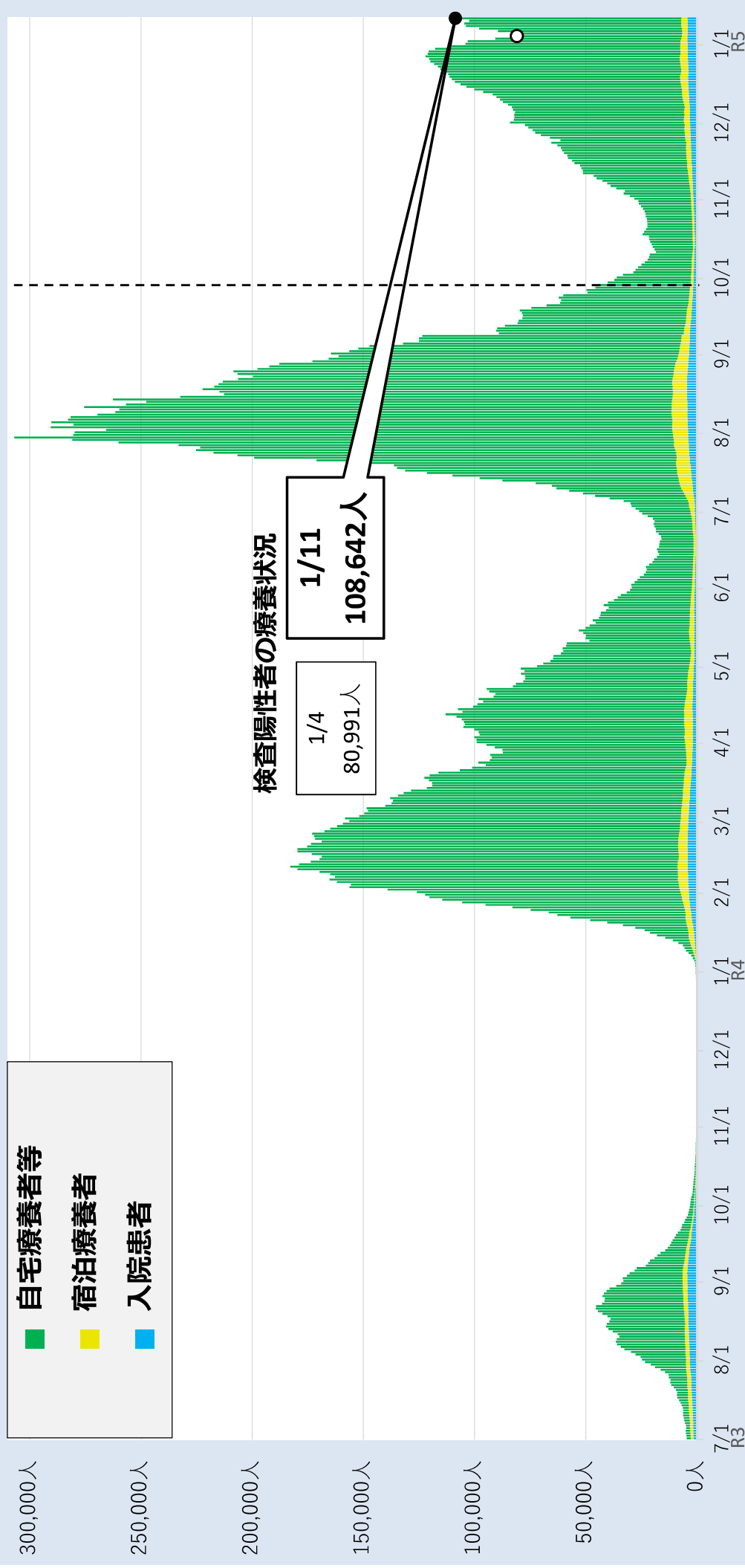
(注) 入院患者のうち、酸素投与が必要な患者数については、令和4年2月2日から作成



### 【医療提供体制】⑤-2 入院患者 年代別割合（公表日の状況）



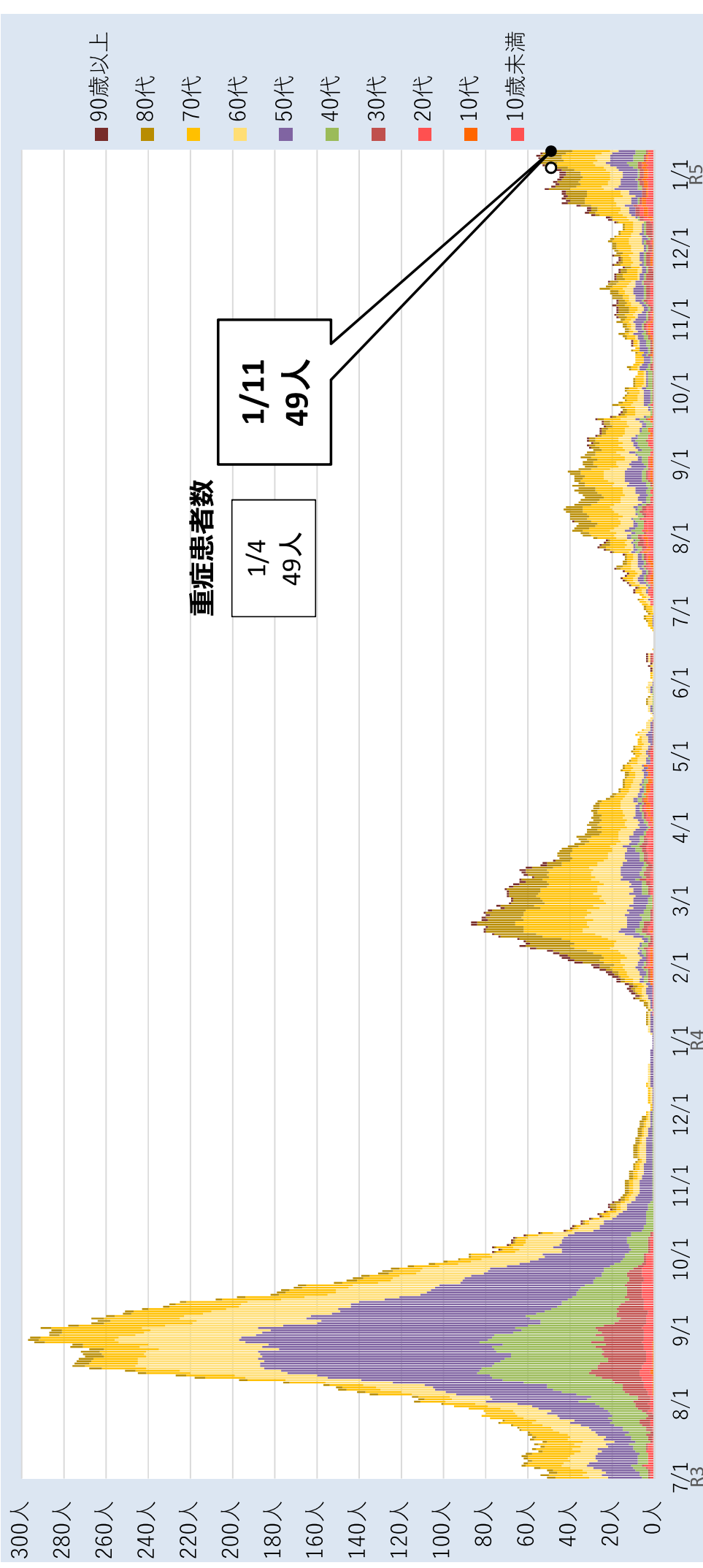
【医療提供体制】 ⑤-3 検査陽性者の療養状況



(注) 全数届出の見直しに伴い、令和4年9月27日以降の自宅療養者等の数は、国への療養状況等の調査報告に準じて、直近1週間の新規陽性者数の合計から入院患者数及び宿泊療養者数を控除した数により推計

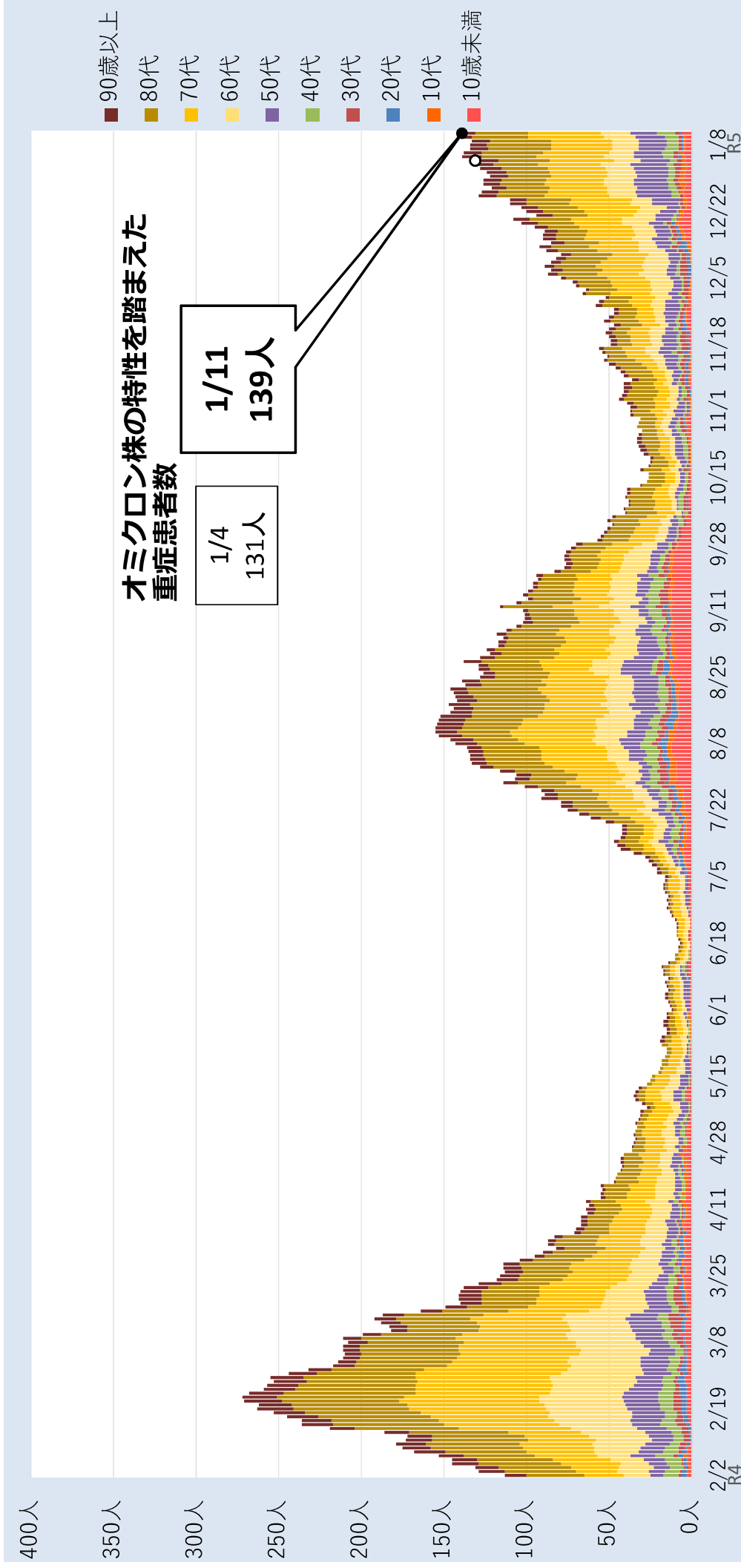
### 【医療提供体制】⑥-1 重症患者数

➤ 重症患者数は、1月11日時点で49人となった。



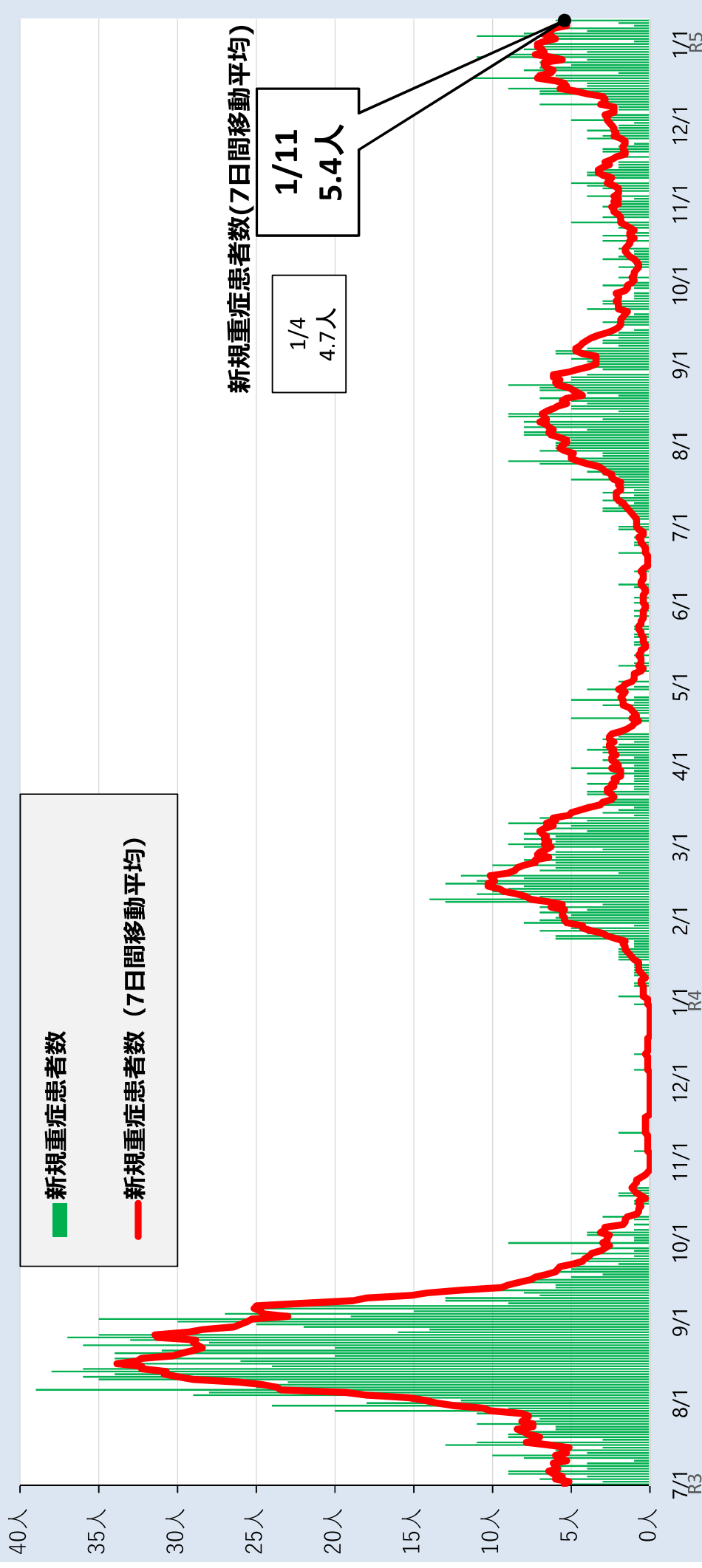
(注) 入院患者数のうち、人工呼吸器管理（ECMOを含む）が必要な患者数を計上

### 【医療提供体制】 ⑥-2 オミクロン株の特性を踏まえた重症患者数



(注) 特定集中治療室管理料又は救命救急入院料を算定する病床の患者数及び人工呼吸器又はECMOの装着又はハイフローサーピーを実施する患者数の合計を計上  
上記の考え方で計上を開始した令和4年2月2日から作成

### 【医療提供体制】 ⑥-3 新規重症患者数



(注1) 件数のばらつきにより、日々の結果が変動するため、こうしたばらつきを平準化し全体の傾向を見る趣旨から、過去7日間の移動平均値として算出  
(注2) 速報値として公表するものであり、後日確定データとして修正される場合がある  
(注3) 吹き出しの数値はモニタリング会議報告時点の数値を記載